

# よえもん

今月のことば

2014年12月

第20号

シリーズ  
よえもん

くらしをたてる



よえもんさんは、望みどおり、お母さんに修行をつくすことが  
できるようになりました。よえもんさんは、くらしをたてるために  
小川村でお酒を売ることになった。ていねいで正直な  
酒屋さんとして、評判になりました。それは、お酒を買いに来た  
お客さんの仕事ぶりによって、お酒の量を加減したのです。  
余分には売らないので、よばらいやお金を使いすぎる人が  
なくなりました。よえもんさんが、村人たちに学問を教えている  
ときにお客さんがくると、お店番ができません。そこで、  
こんな はり敷をしました。

かめにあるお酒を自由にはかって、持って行ってください。  
代金は竹づつに入れておいてください。店主

村人たちは、まちがいが起きないかと、びっくりしましたが、  
「人はみな、誰でもがよい人なのです。まちがいなど  
おきるはずもない。」 といっておえもんさんは笑って  
講義を続けました。毎日、夕方になって調べてみると、  
代金はいつもきちりと竹づつに入っていました。  
この火盆本を利用した酒びょうは、記念館で展示しています。



## 人々の心の中に 明德と名づけたる 無価の寶あり

書・洲田瑞穂さん  
出典・鑑草

「人々の心の中には、生まれながらに明德という  
非常に尊い宝がある」という意味です。  
藤樹にとって、第一の宝は明德であり、生まれながらの  
宝といえます。経済的豊かさや身分の高さなどは、  
世間の宝といひ、第二の宝です。求めても得られる  
とは限らない世間の宝よりも、誰もが持つこの明德  
という宝こそ、親が子に与える最も尊い贈り物  
なのです。この宝さえあれば、その心は常に楽しく、  
子孫も豊かに栄えるのです。明德...立派な道徳心

### 記念館さんぽ

寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを  
感じる記念館と陽明園ですが、  
濃いピンクのお花 サザンカ が  
咲き始めました。江戸時代から  
親しまれている日本が原産地の  
お花です。

お知らせ 記念館は 12/28(日)~1/5(日)  
の間、年末年始の為、休館します。